

地域住宅生産者グループ No.210

木の家でふるさと岩手を復興する会

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
木の家「ふるさと」	岩手県全域

グループの特徴とメッセージ

私たちのグループは、卓越した設計力と建材供給のネットワーク、そして長年の実績を誇る確かな施工技術で『心地いい 木の家』づくりに取り組んでいます。

子供からお年寄まで健やかに暮らせる住まい、あたたかな家族にまつまれた暮らしの空間をご提案いたします。

「自然素材や地場の木材による健康的で調和の取れた住まい」、「省エネや地球環境を考えた自然にやさしい住まい」、「家族のライフスタイルや将来設計を見据えた快適な住まい」そんな暮らしのある住まいづくりの“イメージ”を“かたち”にする。それが私たちのテーマです。

グループの基本情報

グループ名称	木の家でふるさと岩手を復興する会
所在地	岩手県北上市九年橋一丁目10番29号 千田工業(株)住宅事業部内
結成年月	2012年2月
グループ形態	任意団体
主たる業態	工務店、設計事務所、建材事業者 合計24社
グループ構成 ※各事業者名は別紙	原木供給3社、製材2社、 建材流通3社、プレカット2社、 設計3社、施工2社、設備8社、 素材生産業者1社
代表者名	千田和秋(千田工業株式会社代表取締役社長)
主な受賞歴・活動内容等 (グループ内構成員の受賞歴・活動内容)	・平成23年エコ・ハウスコンテストいわて 金賞 設計:(株)高橋設計 施工:千田工業(株) ・平成20年エコ・ハウスコンテストいわて 大賞 設計・施工:千田工業(株)

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	2,000~2,500万円
価格の基準面積	150㎡
価格に含まない項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。
詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績(年間)

建設戸数* (木造戸建)	30戸
うち地域材活用の住宅	3戸
うち長期優良住宅	4戸
グループとしての 施工実績	なし
グループとしての地域 型住宅の受注可能戸数	20戸
自由記入欄 (上記以外の実績等)	断熱、耐震リフォーム施工実績 多数あります。

*参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

担当者名	千田敏夫 高橋清勝	メール	honsa@chidatec.com
電話番号	0197-63-3207	FAX	0197-63-3210
ホームページ	http://www.chidatec.com		
自由記入欄			

地域型復興住宅

木の家「ふるさと」

地域型復興住宅のイメージと特徴

■ 地域材、伝統的工法にこだわった 高断熱・高気密住宅



- ・ 漆喰の真壁にヒバの下見板張を巡らせた外観。張り出した庇が夏の日差しをさえぎり、重厚も醸し出しています。
- ・ 岩手県産の杉、アカマツが珪藻土^{けいそうど}塗壁とバランスよく配された『心地いい 木の家』

■ シンプルなプランで時代が求める高断熱・高気密住宅

- ・ ふるさとの景観・環境に配慮しながら、次世代省エネ基準に比べ、消費エネルギーを半分、三分の一以下に抑えた Q1.0（キューワン）住宅を実現しています。
- ・ バリアフリーの視点から平屋建てを採用。

古民家再生で培ったノウハウをもとに屋根を大きくとりゆとりを感じさせ、車椅子でも出入りできるスロープをもうけた高齢者にやさしい家。



代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	1階：117 m ²
設計	株式会社高橋設計	施工	千田工業株式会社
施工費	2,000 万円（設計費用は除く）	備考	長期優良住宅

設計方法や地域材活用に関する特徴

■地域と共生する自由度の高い住宅設計

- ・明確でシンプルな構造
- ・明確でシンプルな間取り
- ・構造と間取りの分り
- ・地域材と自然素材
- ・シンプルなデザイン
- ・維持管理しやすい設備

地域の気候風土・景観・建築文化に調和する住宅の設計

主に活用している地域材について

地域材の名称	岩手県産材
樹種	杉、アカマツ、カラマツ
産地	岩手県
認証制度等	岩手県産材産地証明書
主に取扱う材種	無垢材、集成材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	岩手県産材は 10m ³ 以上、または 50%以上の使用を基本とします。

性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■全棟長期優良住宅の基準を超えた住宅性能

- ・**耐震** …………… 耐震設計（倒壊等防止）は最高レベルの等級3を標準とします。
- ・**劣化対策** ……… 構造躯体が3世代もつ程度の等級3とします。
- ・**省エネルギー** …… 温熱環境は最高レベルの次世代省エネルギー基準（等級4）を超え、北海道基準（Q値=1.6）程度を標準とします。更に付加断熱によるQ-1.0仕様も設計・施工の実績が多数あります。
- ・**維持管理** ……… 給排水管等の点検清掃・補修が容易に行える最高レベルの等級3を標準とします。

▶▶▶▶▶ Q-1.0(キューワン)プロジェクトとは

北海道の高断熱住宅の標準となる北米型住宅（次世代省エネルギー基準Q値=1.6W/m²K以下）の暖房エネルギーから、さらに半分（Q値=1.0前後）の数値を目指す、超省エネルギーな高性能住宅。

まず、屋根・天井・壁・基礎・床断熱の基本的な断熱に加え、壁への『付加断熱』をプラス。さらには『熱交換換気システム』による熱損失の削減。開口部には断熱ブラインドの『ハニカムサーモ』を導入し、暖房効率のよいハイブリッド住宅を実現しています。



お客様の「想い」を形に



地域住宅生産者グループ 木の家でふるさと岩手を復興する会

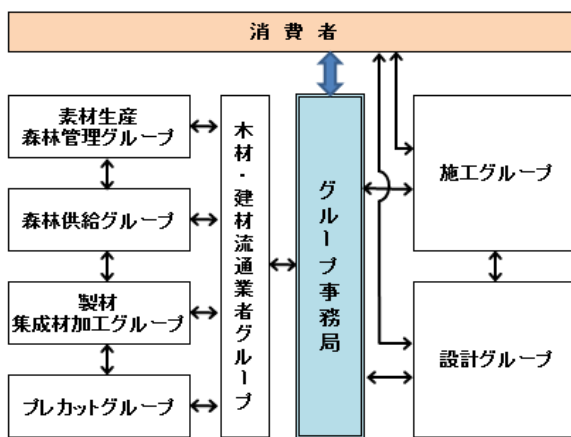
地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■原木からプレカットまで10社参加で安定した供給をいたします。

- ・地域木材の安定した供給から加工までの一貫したグループ構成
- ・木材は予め事務局で把握し適切なルートで供給。



木の家でふるさと岩手を復興する会の体制



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■常駐の建築士が、ご相談に対応いたします。

- ・情報は長期保存の対策を講じた保管を行なっています。
- ・経年検査によるメンテナンスと住まいのカルテにより、長期的な維持管理・増築に対応。

